



つながれ KENPOKU

令和8年9月8日 発行

今回は、福島市学習センター訪問の第3弾として西学習センターの取組と、前期公民館訪問における総括についてお伝えします。

福島市学習センター訪問 8月6日 西学習センター

【西学習センター】



【学び集い、絆を深める拠点へ】

豊かな自然環境や地域資源を生かした「人づくり・地域づくり」に注力しています。特に少年教育に力を入れており、小学生対象の「西こどもクラブ（西チル）」や、2泊3日で共同生活を行う「わくわく交流通学合宿」などを実施。体験型講座や集団生活を通して、子どもたちの自主性や協調性、地域への愛着を育てています。また、ロビーには「IKOI ひろば」が整備され、自由に演奏できるピアノや学習スペースがあり、子どもから若い世代が自然と集う温かな交流の場となっています。さらに、移動手段の限られる高齢者のために地域の集会所へ直接出向く「スマホ利活用支援講座（出前講座）」や、若者世代の交流を促す「IUP カレッジ」、講座からサークル発足へとつながったトレッキング等、多世代の多様なニーズに寄り添う講座を展開しています。

【前期訪問を振り返って】 地域の未来を拓く、温かな学びと絆づくりの拠点

今年度前期は、地域ごとに特色ある取組を推進する各公民館・学習センターを訪問いたしました。

各館では、子どもたちの自主性や協調性を育む体験型の少年教育、現役世代や若者が参加しやすい時間設定や講座内容の工夫、さらには移動手段の限られる高齢者への出前講座など、住民一人一人のライフステージや課題に寄り添った温かな事業が展開されてきました。また、地域学校協働本部としての学校・地域団体との強固な連携や、災害時の避難所機能の維持など、地域の安全とコミュニティを支える大切な役割も果たされています。

どの施設においても、職員の皆様が情熱をもって住民の目線に立ち、人が集い、学び、つながる場づくりに日々尽力されている姿が大変印象的でした。

本紙でご紹介した各館の工夫や実践が、皆様の今後の公民館運営や地域づくり、魅力ある事業企画の一助となれば幸いです。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。